様式第1-①

	142431											
		* 1	※2 機械設値	講調 査表	※ 3			※ 4				
	機械設備の所在地	神奈川県横浜市〇〇区〇〇丁目〇番地〇	調査年月日	平成30年〇月〇日	調査者	麹町 次郎	整理番号	2				
※ 5	機械設備の所有者 の 氏 名 又 は 名 称	○○プレス工業株式会社 ※6	機械設備所有者の住所又 は主たる事業所の所在地	東京都千代田区麹町	〇丁目〇番〇〇	※ 7	業種区分 (産業分類)	金属プレス製品製造業 (2552)				
※ 8	製造(加工)工程					,						
	(当該工場における製品等の製造、加工又は販売等の製造、加工又は販売等の製造、加工等行う製品、加工等行う製品ごとに第10条の一製造工程図」及び第11条の「助線配置図」を作成する。)	材料の受け入れ ⇒ 材料ヤード・切断加工 ⇒ プレス加工 ⇒ 穴あけ・ネジ切加工 ⇒ 検査 ① 当該工場は、家庭用電化製品のプレス部品を製造する工場であり、製品は、少量多品種ですべて受注生産している。 ② 設置されている機械設備は、主として切断機、プレス等の鍛圧機械であり、その他、工作機械等が存している。 ③ 工場内における原材料、仕掛品及び製品等の移動は、専用のコンテナに入れ、天井走行クレーンを用い行われている。										
※ 9	稼動、状況、等	イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
%10	法令の適合性等	② 消 防 法 ; 消防法(危険 ③ 工場立地法 ; 法に定める	時定施設(機械プレス、圧線 物の規制)の規制を受ける 時定工場(敷地面積:9,000 こ存しており、建築基準法	機械設備はない。 ㎡以上、建築面積:3,	000㎡以上)には、	該当しない。						
※11	そ の 他	① 当該工場に存する機械設備には、リース	契約に基づく機器等はない	١,٥								

機械設備調査表 様式第1-①

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	機械設備の所在地	機械設備が存する所在地は適切か。 (図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。)	
※ 2	調査年月日	調査年月日に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	調査者	調査者に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 4	整理番号	整理番号に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 5	所有者氏名又は名称	所有者氏名又は名称に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。)	
※ 6	所有者の住所又は 主事業所所在地	住所又は所在地に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。)	
* 7	業種区分	業種区分は、機械設備調査算定要領 別表1 機械設備標準耐用年数表の区分で適切に認定されているか。(その他作成調書等と一致しているか。)	
* 1	(産業分類)	産業分類は、日本標準産業分類で適切に認定されているか。	
※ 8	製造(加工)工程	当該工場の製造(加工)工程の概要が分かり易くまとめられているか。 (工程が複雑な場合は、製造工程図又は動線配置図等を作成し、整理されているか。)	
※ 9	稼働状況等	調査時点の稼働状況等が分かり易くまとめられているか。 (休眠設備の有無、稼働日及び時間、繁忙期、その他特筆事項が整理されているか。)	
※ 10	法令の適合性等	当該工場に関係する諸法令等が調査され、法令毎に状況がまとめられているか。 (騒音及び振動規制法、消防法、工場立地法、建築基準法、都市計画法等の該当性及び適合性等)	
※11	その他	その他、当該工場に関係する特筆事項等がまとめられているか。 (リース機器の有無、別所有者保有機器の有無等)	

様式第1-②

※1 ※2 ※3 ※4 ※5 機械設備調査表※7 ※8 ※9 ※10 ※11

- X I	* 2	*	3 ** 4	% 3	1750 1750			. 1		X 0	** 3	×10	WII	
番号	機械名	数量	取得年月	仕 様		※ 6 製造所名等	形状	・寸法(m)	質量	基礎寸法·設置状況	復元の	備	考
留亏	1成 17%、1口	量	AX 1寸十刀	型 式 ・ 能 力	出力	表足別有守	(W -	L ·	H)	(t)	(W·L·H)	可否	1)#3	75
1	スケヤーシャー	1	2004 / 6	200型 1.2mm×1360mm 2次側電気配線を含む	1. 50Kw	○○鉄工(株)	2. 30 ×	1. 20 ×	1. 40	3, 20	2.50×1.30×0.30 M-12×300L×4本	可 哲		
2	高速砥石切断機	1	2006 / 8	FS-R8 455x25.4 2次側電気配線を含む	3. 70Kw	○○製砥(株)		0.70 ×		0. 16	車輪付	可• 否		
3	スポット溶接機	1	2007 / 12	SUH-7 400x140 定格: 18.5KVA /J/元: 60Kg 2次側電気配線を含む	10. 50Kw	○○電気工業(株)	0.60 ×	0.80 ×	1. 80	0. 30	- H-12×100L×4本	可 否		
4	直立ボール盤	1	1998 / 8	AUD-550 穴あけ:40 @ nun 振り:550nun 2次側電気距線を合む	1. 50Kw	(株)〇〇鉄工所	0.70 ×	1.10 ×	2. 20	0.70	- H-12×100L×4本	可,否		
5	パワープレス	1	1998 / 8	F P-30 能力:30 t ズェク:100mm 2次側電気配線を含む	1, 50Kw	(株)○プレス製作所	0.90 ×	1. 30 ×	2. 00	2, 00	1.00×1.40×0.50 M-16×400L×4本	可• 否	S	
6	パワープレス	1	1998 / 8	F P-50 能力:50 t ストローク:127mm 2次側電気配線を含む	3. 70Kw	(株) ()プレス製作所	1. 10 ×	1.60 ×	2. 20	3. 30	1. 10×1. 70×0. 50 M-16×400L×4本	可。否		
7	パワープレス	1	2004 / 7	F P-100 能力:100 L ストローク:200mm 2次側電気配線を含む	5. 50Kw	(株) ()プレス製作所	1. 20 ×	1.80 ×	2. 60	4. 50	1.30×2.00×0.50 M-16×400L×4本	可・否		
8	パワープレス	1	2007 / 4	C型 能力:20 t o n 2次側電気配線を含む	1. 50Kw	○○プレス (株)	0.80 ×	1.20 ×	2. 00	1.50	0.90×1.30×0.50 M-16×400L×4本	可 否		
9	パワープレス	1	2007 / 9	0Y-10040 能力:40 t o n 2次側電気配線を含む	2. 20Kw	工具平	1.00 ×	1. 30 ×	2. 20	2. 80	1.00×1.30×0.50 M-16×400L×4本	可一否		
10	天井走行クレーン	1	2004 / 12	1ton吊 6点操作 スベン:8 m 走行:18m 指導:4m 2次側電気配線等を含む	3. 05Kw	○○ホイスト(株)	1. 20 ×	8. 20 ×	0.60	1.80	m	呵 · 否		
11	空気圧縮機	1	2007 / 11	エアマン スクリューコンプ レッサー 0.83~0.643Pa 0.72m3/min 2次側電気配線を含む	5. 50Kw	〇〇工業(株)	0.80 ×	0.60 ×	1. 10	0. 24	- H-12×100L×4本	可· 否		
12	空気圧縮機	1	2007 / 11	へ * L* コン TFD15-10 0.8~1.0MPa 160L/min 2次側電気配線を含む	1. 50Kw	(株)○○空気機械	1. 10 ×	0.35 ×	0.80	0. 16	=:	可• 否		
13	交流アーク溶接機	1	2010 / 5	B-300 24.5KVA 定格電流:300A 2次側電気配線を含む	14. 00Kw	○○電気(株)	0.35 ×	0.50 ×	0.60	0.06	-	可		
14	コンターマシン	1	2008 / 4	NCC-400 400x250 15-90m/min 2次側電気配線を含む	0.75Kw	=	1.15 ×	0.90 ×	1. 90	0.65	- II-12×100L×4本	可		
15	フライス盤	1	2004 / 7	2ML テーブル: 1350×300 ひざ形立て軸形 2次側電気配線等を含む	5. 50Kw	(株) ○○精機	0.60 ×	1.20 ×	1.50	5. 00	- H-12×100L×4本	可• 否		
16	シャーリングマシン	1	2005 / 8	C-512 4.5mm×1270mm 2次側電気配線等を含む	2. 20Kw	○○鉄工所(株)	2. 20 ×	0.90 ×	1. 20	2. 40	2. 40×1. 00×0. 30 M-12×300L×4本	可• 否		
17	平面研削盤	1	2003 7 9	MSG-250 2次側電気配線を含む	0.75Kw	(株)○○機械製作所	1. 40 ×	0.90 ×	1.70	0, 65	1. 40×1. 00×0. 30 M-12×300L×4本	可• 否		
18	普通旋盤	1	2004 / 8	振り:300 á nm - ぶ附1000mm 2次側電気化線を含む 6600 V 受電 キュービケル形	3. 70Kw	○○鉄工㈱	2. 20 ×	0.60 ×	1. 30	2. 00	2. 40×0. 80×0. 30 M-12×300L×1本 2. 40×1. 30×0. 30	可 · 查		
19	高圧受変電設備	1	1998 / 8	動力Tr:100KVA 電灯Tr:50KVA 三相 3 線式 200 V		-	2. 20 ×	1.10 ×	1.80	0.80	M-12×300L×4本	可• 香		
20	動力配線設備	1	1998 / 8	二1日 3 標式 Z00 V) 	×	×				可・否		
21	空気配管設備	1	1998 / 8			_	×	×				可一香		

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	数量	数量に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 4	取得年月	取得年月に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。) (減価償却資産台帳等、根拠資料と整合しているか。) (根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか。また当該根拠は妥当か。)	補償率に影響
※ 5	仕様	型式·能力、出力等に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。) (銘板写真、カタログ、取扱い説明書等、根拠資料と整合しているか。) (根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか、また当該根拠は妥当か。)	
※ 6	製造所名等	製造所名等に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。) (銘板写真、カタログ、取扱い説明書等、根拠資料と整合しているか。) (根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか、また当該根拠は妥当か。)	
※ 7	形状·寸法	形状・寸法に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	運搬費に影響
※ 8	質量	質量に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。) (銘板写真、カタログ、取扱い説明書等、根拠資料と整合しているか。) (根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか、また当該根拠は妥当か。)	運搬費に影響
※ 9	基礎寸法·設置状況	基礎の有無、寸法、設置状況等に誤りはないか。 (図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。) (施工図、竣工図等、根拠資料と整合しているか。) (根拠資料等がない場合、認定根拠が明示されているか、また当該根拠は妥当か。)	
※ 10	復元の可否	復元の可否判断に誤りはないか(特に否の場合、客観的に妥当か。)	
※ 11	備考	その他、特筆事項が表記されているか。	

 機械設備算定内訳書 (総括表)

 整理番号 : 2

× 4

※ 2 所有者氏名: ○○プレス工業株式会社

工 法: 復元工法 (一部再築)業種区分: 金属プレス製品製造業

- * 5

※3 所在地 : 神奈川県横浜市〇〇区〇〇丁目〇番地〇

算定年月 : 平成30年4月

____ ※ 6

復元費	又は再築費 計	撤去費 計	廃材運搬費	計	消費税等相当額	廃材処分費	売却価権	各(Ⅰ)	補償額
	(C)	(D)	(E)	C+D+E=(F)	F×税率=(G)	(H)	スクラップ価格	中古品売却価格	F+G+H-I
※ 16	10, 163, 902	※17 5, 340, 053	%18 100, 000	※19 15, 603, 955	※ 20 –	※21 18, 320	※22 15, 225	※23 308, 000	※24 15, 299, 050

37E CO	16k 1+ 57	*L 🖽	※機器別	復元工事費又は一	X 12	再築補償率		※ 復元費又は再築費	※ 撤去費	※ 備 老
番号	※8機械名※9	数量	10 移転工法	○ 再築工事費11 (A)	経過年数 (年)	標準耐用年数 (年)	補償率 (B)	13 Axit A×B=(C)	14 (D)	· X 備 考 15
1	スケヤーシャー	1	復元	779, 044			0.	779, 044	453, 745	
2	高速砥石切断機	1	復元	34, 414			0	34, 414	19, 934	
3	スポット溶接機	1	復元	112, 229				112, 229	65, 666	
4	直立ボール盤	1	復元	214, 717		設計	计注	214, 717	127, 130	
5	パワープレス	1	再築	2, 087, 462	20	26	42. 4	885, 083	285, 854	
6	パワープレス	1	復元	786, 557		公,次 5-	太 東女/	786, 557	458, 220	
7	パワープレス	1	復元	1, 003, 992	11	四見/	TE	1, 003, 992	584, 962	
8	パワープレス	1	復元	436, 363	Adins	tmen	+ SIII	436, 363	252, 908	
9	パワープレス	1	復元	682, 439	xujus	CITICI	it out	682, 439	397, 431	
10	天井走行クレーン	1	復元	1, 182, 356				1, 182, 356	659, 466	
11	空気圧縮機	1	復元	47, 146				47, 146	27, 580	
12	空気圧縮機	1	復元	34, 182				34, 182	19, 934	
13	交流アーク溶接機	1	復元	17,006				17,006	8, 911	
14	コンターマシン	1	復元	202, 254				202, 254	119, 214	
15	フライス盤	1	復元	990, 827				990, 827	583, 864	
16	シャーリングマシン	1	復元	622, 511				622, 511	361, 987	
17	平面研削盤	1	復元	242, 902				242, 902	139, 114	
18	普通旋盤	1	復元	539, 527				539, 527	313, 145	
19	高圧受変電設備	1	復元	293, 207				293, 207	144, 964	
20	動力配線設備	1	再築	1, 820, 835	20	26	42.4	772, 034	220, 680	
21	空気配管設備	1	再築	672, 434	20	26	42.4	285, 112	95, 311	
	小 計			(12, 802, 404)				(10, 163, 902)	(5, 340, 053)	
	合 亦			12, 802, 404				10, 163, 902	5, 340, 053	

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	整理番号	整理番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	所有者氏名	所有者氏名又は名称に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。)	
※ 3	所在地	機械設備が存する所在地は適切か。(図面表記内容、その他作成調書、公的書類等と一致しているか。)	
※ 4	工法	算定工法に誤りはないか。(復元、再築、除却等、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 5	業種区分	業種区分は、機械設備調査算定要領 別表 1 機械設備標準耐用年数表の区分で適切に認定されているか。(その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 6	算定年月	算定年月に誤りはないか。(実算定年月、算定年度4月固定等)	経過年数の基準日
※ 7	番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 8	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 9	数量	数量に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 10	機器別移転工法	算定工法に誤りはないか。(復元、再築、除却等、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 11	復元工事費又は 再築工事費	復元工事費·再築工事費に誤りはないか。 (機械設備算定内訳書(復元工事費又は再築工事費)から正しく計上されているか。)	
*12	再築補償率 (再築工法のみ)	経過年数に誤りはないか。(6ヶ月以上は切上、6ヶ月未満は切捨となっているか。) 標準耐用年数に誤りはないか。(業種区分に対応した年数となっているか。) 補償率に誤りはないか。(算出式は適正か。)	
※ 13	復元費又は再築費	各費用に誤りはないか。 (数量×各工事費×補償率(再築工法のみ)となっているか。)	
※ 14	撤去費	撤去費に誤りはないか。 (機械設備算定内訳書(撤去費)から正しく計上されているか。)	
※ 15	備考	その他、特筆事項が表記されているか。	
※ 16	復元費又は再築費 計	復元費又は再築費 計に誤りはないか。(復元費又は再築費欄の合計値となっているか。)	
※ 17	撤去費 計	撤去費 計に誤りはないか。(撤去費欄の合計値となっているか。)	
※ 18	廃材運搬費	廃材運搬費に誤りはないか。(<mark>廃材運搬費計算書等</mark> で算出した廃材運搬費が反映されているか。)	建物との合算無し
※ 19	計	復元費又は再築費 計 と 撤去費 計 と 廃材運搬費 の合計値となっているか。	

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※20	消費税等相当額	消費税等相当額に誤りはないか。 (消費税調査で判定した内容(補償の要否、補償税率)となっているか。)	
※ 21	廃材処分費	廃材処分費に誤りはないか。(<mark>廃材処分費計算書等</mark> で算出した廃材処分費が反映されているか。)	建物との合算無し
※ 22	売却価格	スクラップ価格に誤りはないか。(<mark>スクラップ算出書等</mark> で算出したスクラップ価格が反映されているか。)	建物との合算無し
※ 23	ソレム가 四十日	中古品売却価格に誤りはないか。(売却価格算出書等で算出した売却価格が反映されているか。)	建物との合算無し
※ 24	補償額	計 と 消費税等相当額 と廃材処分費 の合計値から 売却価格 が控除されているか。	



様式第3

機 械 設 備 算 定 内 訳 書(復元工事費又は再築工事費) [復元工法(一部再築)]

X 14 **X**15 X16 X17 直接工事費 機器等購入費 数量 機器別 共通仮設費 純工事費 据付間接費 現場管理費 工事原価 一般管理費等 復元工事費又は ※ 2 機 械 名 **※** 1 番号 設備機械工 移転 機械別 計 計 購入費 計 再築工事費 × 8 _D **※12** E + G + H 0×10.25% 備考 E × 28, 83% 工法 工事費 A × B A×据付労務費 F×130% I × 15, 29% 単価 A × K I + J + L(A) $(B) \times 5$ (c)X 6 (F) × 9 (G)×10 (H) (I) (K) (L) (D) (E) (M) スケヤーシャー 1 1 復元 304, 344 304, 344 31, 100 335, 444 187, 440 243,600 96,700 675, 744 103, 300 779,044 2 高速砥石切断機 1 復元 12,814 12,814 1.300 14, 114 9, 152 11,800 4,000 29, 914 4,500 34, 414 3 スポット溶接機 1 復元 41, 329 41, 329 4,200 45, 529 29,920 38,800 97, 429 14,800 112, 229 13, 100 4 直立ボール盤 1 復元 78, 417 78, 417 8,000 86, 417 57.728 214, 717 75,000 24,900 186, 317 28, 400 パワープレス 1 再築 178, 562 178, 562 18, 300 196, 862 130, 240 169, 300 56, 700 422, 862 64,600 1,600,000 1,600,000 2, 087, 462 パワープレス 1 復元 304,657 304,657 31, 200 335, 857 192,016 249,600 96,800 682, 257 104, 300 786, 557 パワープレス 1 7 復元 389,692 389, 692 39,900 429, 592 244, 288 317,500 123,800 870, 892 133, 100 1,003,992 パワープレス 復元 1 171, 263 171, 263 17,500 104, 192 135, 400 54, 400 378, 563 436, 363 188, 763 57,800 パワープレス 1 復元 262, 239 262, 239 26,800 289,039 168, 960 219,600 591, 939 90,500 682, 439 83.300 10 天井走行クレーン 1 復元 53,900 213.840 277, 900 167, 300 1,025,556 156, 800 1, 182, 356 526, 456 526, 156 580, 356 11 空気圧縮機 1 復元 17,546 17,546 1,700 19, 246 12, 496 16, 200 5,500 40,946 6, 200 47, 146 12 空気圧縮機 1 復元 12,682 12,682 1,200 13, 882 9, 152 11,800 4,000 29, 682 4, 500 34, 182 13 交流アーク溶接機 600 1 復元 6,706 6,706 7,306 4, 224 5, 400 2, 100 14,806 2, 200 17,006 14 コンターマシン 1 復元 73, 954 73, 954 7,500 81, 454 54.384 70,600 23, 400 175, 454 26, 800 202, 254 15 フライス盤 1 復元 362, 627 37, 100 399, 727 265,056 344, 500 859, 427 362, 627 115,200131, 400 990, 827 16 シャーリングマシン 1 復元 243,011 243,011 24,900 267, 911 149, 952 194,900 77, 200 540,011 82,500 622, 511 17 平面研削盤 復元 98,702 98,702 10, 100 108, 802 54, 384 31, 300 32, 200 242,902 1 70,600 210,702 18 普通旋盤 1 復元 210, 427 210, 427 21,500 231, 927 130, 240 169,300 66,800 468,027 71,500 539, 527 19 高圧受変電設備 1 復元 179, 207 179, 207 18, 300 197, 507 56,900 254, 407 38, 800 293, 207 20 動力配線設備 一築 1 1, 112, 135 1, 112, 135 113,900 1, 226, 035 353, 400 1, 579, 435 241, 400 1,820,835 再築 21 空気配管設備 1 410, 734 410, 734 42, 100 452, 834 130, 500 583, 334 89, 100 672, 434 計 (4,997,504)(4,997,504)(511, 100)(9, 717, 704) (1,484,700)(1,600,000)(12, 802, 404)11 (5,508,604)(2,017,664)(2,621,800)(1,587,300)(1,600,000)合 計 4, 997, 504 4, 997, 504 511, 100 5, 508, 604 2, 017, 664 2,621,800 1, 587, 300 9, 717, 704 1, 484, 700 1,600,000 1,600,000 12, 802, 404

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	数量	数量に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 4	機器別移転工法	算定工法に誤りはないか。(復元、再築、除却等、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 5	直接工事費	機械別工事費に誤りはないか。(<mark>機械設備直接工事費明細書</mark> で算出した工法の直接工事費(据付) が反映されているか。)	
※ 6		計 欄は、上記工事費と数量の積となっているか。	
※ 7 共通仮設		直接工事費 計の合計値に対応した共通仮設費率(機械設備調査算定要領 別表2 共通仮設費率表による)となっているか。	
	共通仮設費	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の共通仮設費は正しく計上されているか。(別紙按分計算書の額と一致しているか。)	前欄の最高額との比較
		端数処理は正しく行われているか。(100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕)	
※ 8	純工事費	直接工事費 計と共通仮設費率の和となっているか。	
※ 9	据付間接費	該当機械 様式第5 直接工事費明細書の据付労務費(設備機械工)と数量の積となっているか。	
※ 10	加刊即按貝	計 欄は、上記労務費に1.3(130%)を乗じた数値となっているか。	
		純工事費に対応した現場管理費率(機械設備調査算定要領 別表3 諸経費率表による)となっているか。	
※ 11	現場管理費	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の現場管理費は正しく計上されているか。(別紙按分計算書の額と一致しているか。)	前欄の最高額との比較
		端数処理は正しく行われているか。(100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕)	
※ 12	工事原価	純工事費と据付間接費の計と現場管理費の和となっているか。	
※ 13	一般管理費等	工事原価に対応した一般管理費等率(機械設備調査算定要領 別表3 諸経費率表による)となっているか。	

機械設備算定内訳書(復元工事費又は再築工事費) 様式第3

番号	チェック項目	チェック内容	備考
* 13	一般管理費等	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の現場管理費は正しく計上されているか。(別紙按分計算書の額と一致しているか。)	前欄の最高額との比較
		端数処理は正しく行われているか。(100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕)	
	14 機器等購入費	単価の根拠となる見積比較表、カタログ等は添付されているか。金額に誤りはないか。	
※ 14		配線設備を除く「再築」工法の機械について、購入費単価がきちんと計上されているか。また、購入費単価が計上されている機械の移転工法は「再築」となっているか。	
※ 15		計 欄は、購入費単価と数量の積となっているか。	
% 16	復元工事費又は 再築工事費	工事原価、一般管理費等、機器等購入費 計の和となっているか。	
※ 17	備考	その他、特筆事項が表記されているか。	

Infrastructure Adjustment Support System

機械設備算定内訳書(撤去費)

※1〔再築工法〕

※ 4 ***** 2 ***** 3 直接工事費 共通仮設費 据付(撤去)間接費 機器別 純工事費 現場管理費 工事原価 一般管理費等 撤去費 数量 設備機械工 移転 機械別 X 9 C + D X14 X12 **※13** E + G + H **※15** _{I + J} 番号 機 械 名 X 16 備考 $A \times B$ C×10, 25% E×28.83% $I \times 15.39\%$ 工法 A×撤去労務費 F×130% 工事費 (B)**X** 6 \times 5 (c)X (G) × 1 (D) (E) (F) × 1 (H) (I) (K) (J) 1 スケヤーシャー 再築 108, 239 108, 239 11,000 119, 239 34, 300 153, 539 23,600 177, 139 高速砥石切断機 1 再築 4,053 4,053 400 4, 453 1,200 5,653 800 6, 453 スポット溶接機 1 再築 13, 341 13, 341 1,300 14,641 4,200 18,841 2,800 21,641 4 |直立ボール盤 1 再築 25, 502 25,502 2,600 28, 102 8, 100 36, 202 5,500 41,702 パワープレス 再築 103, 254 103, 254 10,500 113, 754 78, 144 101,500 32,700 247, 954 38, 100 286, 054 中古処分 パワープレス 6 1 再築 149, 435 149, 435 15, 300 164, 735 115, 280 149,800 47,400 361, 935 55,700 417,635 中古処分 パワープレス 再築 中古処分 191, 383 191,383 19,600 210, 983 146,608 190,500 60,800 462, 283 71, 100 533, 383 パワープレス 再築 83,800 83,800 8,500 92,300 62, 480 81, 200 26,600 200, 100 30,700 230,800 中古処分 パワープレス 再築 128,077 128,077 13, 100 141, 177 101, 376 131,700 40,700 313, 577 48, 200 361, 777 中古処分 100 天 / 10 | 天井走行クレーン 1 再築 171, 702 171, 702 17,500 189, 202 54, 500 243, 702 37,500 281, 202 空気圧縮機 再築 8,428 8,428 800 9,228 7,568 9,800 2,600 21,628 3,300 24,928 中古処分 11 1 12 空気圧縮機 再築 6, 132 6, 132 600 6,732 5, 456 7,000 1,900 15,632 2,400 18,032 中古処分 13 交流アーク溶接機 1 再築 1,936 1,936 100 2,036 500 300 2,536 2,836 コンターマシン 再築 24, 245 24, 245 2,400 26,645 7,600 34, 245 5,200 39, 445 14 15 フライス盤 1 再築 117,570 117,570 12,000 129,570 37,300 166,870 25,600 192, 470 16 シャーリングマシン 再築 86,003 86,003 8,800 94,803 27,300 122, 103 18,700 140,803 17 平面研削盤 再築 36, 445 40, 145 51.645 36, 445 3,700 11,500 7,900 59, 545 18 普通旋盤 再築 74, 116 7,500 23,500 105, 116 16, 100 121, 216 74, 116 81,616 19 高圧受変電設備 1 再築 56, 498 56, 498 5,700 62, 198 17,900 80,098 12,300 92,398 動力配線設備 再築 134,880 134,880 13,800 148,680 42,800 191, 480 29,400 220,880 20 1 再築 21 空気配管設備 1 58, 311 58, 311 5,900 64, 211 18,500 82,711 12,700 95, 411 (1, 583, 350) (1,583,350)(161, 100) (1,744,450)(516, 912)(671, 500)(501, 900) (2,917,850)(447, 900)(3, 365, 750)小 計 合 計 1,583,350 1,583,350 161, 100 1, 744, 450 516, 912 671,500 501,900 2, 917, 850 447, 900 3, 365, 750

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	移転工法	移転工法に誤りはないか。(直接工事費で採用している額が様式第5の記載工法欄の額と一致しているか。)	
※ 2	番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 4	数量	数量に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 5	機器別移転工法	算定工法に誤りはないか。(復元、再築、除却等、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 6	直接工事費	機械別工事費に誤りはないか。(<mark>機械設備直接工事費明細書</mark> で算出した工法の直接工事費(撤去)が反映されているか。)	
※ 7		計欄は、上記工事費と数量の積となっているか。	
	共通仮設費	直接工事費 計の合計値に対応した共通仮設費率(機械設備調査算定要領 別表2 共通仮設費率表による)となっているか。	
※ 8		別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の共通仮設費は正しく計上されているか。(別紙按分計算書の額と一致しているか。)	前欄の最高額との比較
		端数処理は正しく行われているか。(100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕)	
※ 9	純工事費	直接工事費 計と共通仮設費率の和となっているか。	
※ 10	撤去間接費	該当機械 様式第5 直接工事費明細書の撤去労務費(設備機械工)と数量の積となっているか。	
※ 11	俶 玄间按貝	計 欄は、上記労務費に1.3(130%)を乗じた数値となっているか。	
		純工事費に対応した現場管理費率(機械設備調査算定要領 別表3 諸経費率表による)となっているか。	
% 12	現場管理費	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の現場管理費は正しく計上されているか。(別紙按分計算書の額と一致しているか。)	前欄の最高額との比較
		端数処理は正しく行われているか。(100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て〔共通仕様書 数量等の処理〕)	
※ 13	工事原価	純工事費と撤去間接費の計と現場管理費の和となっているか。	

機械設備算定內訳書(撤去費) 様式第4

番号	チェック項目	チェック内容	備考
*14		工事原価に対応した一般管理費等率(機械設備調査算定要領 別表3 諸経費率表による)となっているか。	
	一般管理費等	別途比較表にて、前欄の最高額との逆転現象について検証しているか。また、逆転現象となった場合の現場管理費は正しく計上されているか。(別紙按分計算書の額と一致しているか。)	前欄の最高額との比較
		端数処理は正しく行われているか。(100円未満切り捨て、但し100円未満の場合は1円未満切り捨て、共通仕様書 数量等の処理))	
※ 15	撤去費	□ 工事原価、一般管理費等の和となっているか。	
※ 16	備考	中古処分またはスクラップに誤りはないか。中古処分の場合その旨記載されているか。その他、特 筆事項が表記されているか。	
		1/10 社会資本整備支援機構	
		Infrastructure Adjustment Support System	

機械設備直接工事費明細書

※1

番号 1 機械名 スケヤーシャー

	項目	内訳	仕 様	単位	単価		復 元	وسمجما	再 築	※11 備考
	項 口	N at	11. 174	丰田	# W	数量	金 額	数量	金額	VH 45
× 3	①据付費	設備機械工		人	17,600	10.65	187, 440	10.65	187, 440	=- F 00
		普通作業員		人	13,900	1, 18	16, 402	1.18	16, 402	コード 〇〇
		(据付労務費 計)	= a		-		(203, 842)		(203, 842)	
		仮設費		压			-			
× 4	②機械基礎費	基礎工事費		式	48, 800	1.00	48, 800	1.00	48, 800	機械代価表 第 1
		基礎ボルト	M-12×300L	本	52	4.00	208	4.00	208	建設物価 P.00
× 5	③運搬費	復元運搬費	運搬車10 t	台	20, 500	0.32	6, 560		- 4	コード 〇〇
据		持込輸送費		台		1000				
× 6	④直接経費	総合試運転費		左			- X			
付		電力料等	1.50×4Hr	KWH	15	6.00	90			電力供給規定
100		機械経費	a ×2%	式	/42	1.00	4,076	1.00	4, 076	
× 7	⑤補修費等	復元のみ	a ×20%	式	去上人	1.00	40, 768	1502 150	-1dt = 2	
X 8	⑥材料その他			式	117	1具件	"淮"从	12/7	/ 1 -	
		: Infi	astructui	eА	djust	ment	Suppor	Syst	em	
		直接工程	事費 (据付) 計				304, 344		256, 926	
× 9	⑦撤去費	設備機械工		人	17,600	6.39	112, 464	4. 26	74, 976	コード 〇〇
		普通作業員		人	13, 900	0.71	9, 869	0.47	6, 533	3- F 00
		(撤去労務費 計)	= b				(122, 333)		(81, 509)	
		仮設費		式			-		-	
	⑧基礎撤去費			式	25, 100	1.00	25, 100	1.00	25, 100	機械代価表 第 1
撤	⑨直接経費	機械経費	b ×2%	式	- 1	1.00	2, 446	1.00	1,630	
× 7	⑩補修費等	復元のみ	b×20%	式	1	1,00	24, 466			
去	⑪材料その他			五					3	
		直接工	事費(撤去) 計				174, 345		108, 239	

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
		必要項目が計上されているか。計上漏れはないか。必要に応じて仮設費は計上されているか。	
※ 3	据付費	復元、再築の数量は、 <mark>機械設備据付工数等計算書</mark> で算出された数値が正しく記載されているか。	
		内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
		必要に応じて根拠となる代価表、図面等を正しく作成しているか。(機械基礎図等)	
※ 4	機械基礎費	根拠となる代価表は図面等に基づき適切に積み上げ算定されているか。	
* 4		内訳、仕様、単位の記載が根拠資料に基づき正しく記載されているか。	
		単価、計算に誤りはないか。	
		復元に運搬費が計上されているか。	
※ 5	運搬費	数量は、機械設備運搬台数計算書で算出された数値が正しく記載されているか。	
		内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
		必要な経費が計上されているか。(総合試運転費、電力料等)	
※ 6	直接経費	機械経費率(2%)は正しく計上されているか。	
		内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
		計上は復元のみとなっているか。	
※ 7	補修費等	補修費率(20%)は正しく計上されているか。	
		内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
※ 8	材料その他	必要に応じて材料その他の費用が正しく計上されているか。	
		必要項目が計上されているか。計上漏れはないか。必要に応じて仮設費は計上されているか。	
※ 9	撤去費	復元、再築の数量は、機械設備据付工数等計算書で算出された数値が正しく記載されているか。	
		内訳、仕様の記載事項、及び単価、計算に誤りはないか。	
		必要に応じて根拠となる代価表、図面等を正しく作成しているか。(機械基礎図等)	
※ 10	基礎撤去費	根拠となる代価表は図面等に基づき適切に積み上げ算定されているか。	
×10	李 嵷俶太貝	内訳、仕様、単位の記載が根拠資料に基づき正しく記載されているか。	
		単価、計算に誤りはないか。	
※ 11	備考	コード番号、代価表番号、資料ページ等必要な情報が正しく記載されているか。	

※1 ※2 機械設備据付工数等計算書

		144 00 Av	+44	機	械分類(工数步技	+)		拼	居 付 工	数	中古		撤去	工数		
	機械名	機器等 の質量	機械	※ 5	()	A)		環境補正	工数步掛	設備機械工	普通作業員	処分		る場合		る場合	備考
番号	機械名	※ 3	分類	11	2	3	4	(B)	× 7/ _{A×B}	× 8 (人) C×0.9	× 9 (λ) C×0.1	の可否 ※10	加又 0倍 1成 1成 二	普通作業員 ※ E×0.6	設備機械工 ※ D×0.4	普通作業員 ※E×0.4	1/8 ~5
		(t)	× 4	2.4 X 0.776	4.8X 0.776	4.8X	7.5 X	※ 6	(c)	(D)	(E)	可:0	11 (F)		13 (H)	14 (1)	-
1	スケヤーシャー	3. 20	2	20	11.836	8	-	1.0	11, 836	10.65	1, 18	×	6, 39	0.71	4. 26	0, 47	
2	高速砥石切断機	0.16	1	0, 578	-	+	-	1,0	0. 578	0, 52	0.06	×	0.31	0.04	0, 21	0, 02	
3	スポット容接機	0.30	2	-	1.885	5.00	1- 1	1.0	1.885	1.70	0. 19	×	1, 02	0.11	0. 68	0.08	
4	直立ボール盤	0.70	2		3, 639	8_	(C	1, 0	3, 639	3, 28	0.36	×	1, 97	0. 22	1. 31	0, 14	
5	パワープレス	2,00	2	181	8, 219	-	9-1	1,0	8. 219	7.40	0.82	0	4. 44	0.49	T Next		
6	パワープレス	3.30	2	r I	12, 122	1	17	1.0	12, 122	10.91	1, 21	0	6, 55	0, 73	L		
7	パワープレス	4, 50	2	341	15, 421	0	18	1, 0	15. 421	13, 88	1.54	0	8, 33	0. 92	3.47	1 = 5	
8	パワープレス	1, 50	2	- /	6, 574	100	DE	1, 0	6. 574	5. 92	0.66	0	3, 55	0.40	TORRE		
9	パワープレス	2, 80	2.	5.1	10, 671	-3-	-	1.0	10. 671	9. 60	1.07	0	5. 76	0.64	(I. 11-52)		
10	天井走行クレーン	1.80	4	ntra	SET	ieti	13, 500	1.0	13, 500	12, 15	1, 35	DXI	7. 29	0.81	4, 86	0, 54	
11	空気圧縮機	0.24	1	0, 792	121		5-	1.0	0. 792	0.71	0.08	0	0. 43	0.06	-	2	
12	空気圧縮機	0.16	1	0. 578	(F)	8.	-	1, 0	0. 578	0. 52	0.06	0	0.31	0.04	il of	-	
13	交流アーク溶接機	0.06	1	0. 270	-	4.7	12.	1.0	0, 270	0.24	0.03	×	0, 14	0.02	0.10	0.01	
14	コンターマシン	0.65	2	-	3, 436	-	-	1.0	3, 436	3, 09	0.34	×	1, 85	0. 20	1. 24	0.14	
15	フライス盤	5.00	2	151	16. 735	. 8 .	>	1.0	16. 735	15. 06	1.67	×	9.04	1.00	6.02	0, 67	
16	シャーリングマシン	2, 40	2.	1.00	9, 468	~	- 1	1, 0	9, 468	8, 52	0.95	×	5, 11	0. 57	3, 41	0, 38	
17	平面研削盤	0.65	2	18.1	3. 436	18.1	2-1	1.0	3, 436	3, 09	0. 34	×	1.85	0. 20	1. 24	0.14	
18	普通旋盤	2.00	2	113-41	8. 219	8.1	2	1.0	8. 219	7.40	0.82	×	4. 44	0.49	2, 96	0.33	
19	高圧受変電設備	11									V						
20	動力配線設備					- 1				1 1	21 11			2			
21	空気配管設備	1															

番号		チェッ	ク項目	チェック内容	備考
※ 1		番	号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2		機材	戒名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3		機器等	の質量	機械設備調査表の質量と一致しているか。	
※ 4		機械	分類	機械区分表に基づき分類されているか。機械設備調査表と一致しているか。	
※ 5		工数	(歩掛	計算(Xは機械質量)及び端数処理(小数点以下4位切捨)は正しく行われているか。	
※ 6		環境	補正	危険作業等の補正が必要な場合適切に補正されているか。	
※ 7	据	-	工数歩掛	計算及び端数処理(小数点以下4位切捨)は正しく行われているか。	
※ 8	· 付 工	設	:備機械工	計算及び端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
※ 9	数	普	通作業員	計算及び端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
※ 10	F	中古処念	分の可否	中古処分の可否は見積・聞取り等により適切に判断されているか。	
※ 11	撤	復元	設備機械工	計算及び端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
※ 12	去	1发儿	普通作業員	計算及び端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
※ 13	エ	五份	設備機械工	計算及び端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
※ 14	数	再築	普通作業員	計算及び端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
		1	1		

機械設備運搬台数計算書

× 1	※ 2		機械等の	質量、形物	で・寸法		運搬車輌	(10 t 車)	質量基準	面積基準	認定台数	備考	
番号	機械名	質量 (t) ※3	※ 4 w ⋅	L·H (m	1)	面積 (㎡) (B) ※5	積載質量 (C) ※6	積載面積 ※ 7 (D)	運搬台数 ※8 A÷C=(E)	運搬台数 ※ 9 B÷D=(F)	※10 E又はF	備	考
1	スケヤーシャー	3, 20	2, 30	1. 20	1, 40	2, 760	10, 00	17, 60	0.32	0. 16	0, 32		
2	高速砥石切断機	0.16	0.45	0.70	0.80	0. 315	10.00	17.60	0.02	0.02	0. 02		
3	スポット溶接機	0.30	0.60	0.80	1.80	0. 480	10.00	17.60	0.03	0. 03	0. 03		
4	直立ボール盤	0.70	0, 70	1.10	2, 20	0,770	10,00	17, 60	0.07	0, 04	0.07		
5	パワープレス	2.00	0.90	1. 30	2.00	1, 170	10.00	17.60	0.20	0.07	0. 20		
6	パワープレス	3, 30	1.10	1. 60	2. 20	1, 760	10, 00	17.60	0.33	0, 10	0. 33		
7	パワープレス	4, 50	1. 20	1.80	2. 60	2. 160	10.00	17.60	0, 45	0. 12	0. 45		
8	パワープレス	1.50	0.80	1. 20	2.00	0.960	10.00	17.60	0.15	0.05	0, 15		
9	パワープレス	2, 80	1.00	1. 30	2. 20	1, 300	10.00	17.60	0. 28	0. 07	0. 28		
10	天井走行クレーン	1.80	1, 20	8. 20	0.60	9.840	10.00	17, 60	0.18	0. 56	0.56		
11	空気圧縮機	0. 24	0.80	0.60	1. 10	0.480	10.00	17.60	0.02	0. 03	0. 03		
12	空気圧縮機	0.16	1, 10	0, 35	0.80	0, 385	10.00	17, 60	0.02	0. 02	0.02		
13	交流アーク溶接機	0.06	0, 35	0.50	0.60	0, 175	10.00	17, 60	0.01	0. 01	0.01		
14	コンターマシン	0. 65	1, 15	0.90	1.90	1, 035	10,00	17.60	0.07	0.06	0.07		
15	フライス盤	5, 00	0, 60	1.20	1.50	0, 720	10,00	17, 60	0.50	0.04	0, 50		
16	シャーリングマシン	2, 40	2. 20	0.90	1. 20	1. 980	10.00	17, 60	0. 24	0, 11	0. 24		
17	平面研削盤	0. 65	1.40	0.90	1. 70	1, 260	10.00	17.60	0.07	0. 07	0.07		
18	普通旋盤	2, 00	2, 20	0, 60	1. 30	1, 320	10.00	17, 60	0. 20	0.08	0, 20		
19	高圧受変電設備	0. 80	2. 20	1. 10	1.80	2. 420	10, 00	17, 60	0.08	0, 14	0, 14		
20	動力配線設備												
21	空気配管設備												

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	機械等の質量	機械設備調査表の質量と一致しているか。	
※ 4	機械等の寸法	機械設備調査表の寸法と一致しているか。	
※ 5	機械等の面積	面積計算及び端数処理(小数点以下4位切捨)は正しく行われているか。	
※ 6	積載質量	運搬車両の積載質量と一致しているか。	
※ 7	積載面積	運搬車両の積載面積と一致しているか。	
※ 8	質量運搬台数	計算及び端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
※ 9	面積運搬台数	計算及び端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
※ 10	認定台数	認定(E又はFの大きい方)は正しく行われているか。	
		人	
		nfrastructure Adjustment Support System	

※1 ※2 機械設備見積比較表

番号	機械名	見積業	者名及び	見積金額(円)	41	※5 採用金額(円)	備	考
1	スケヤーシャー	※ 3 ㈱○○精機	2, 950, 000	※ 4 ㈱○○鉄工	3, 100, 000	2, 950, 000		
2	高速砥石切断機	㈱○○精機	470,000	㈱○○鉄工	510,000	470, 000		
3	スポット溶接機	㈱○○精機	730,000	㈱○○鉄工	780, 000	730, 000		
4	直立ボール盤	㈱○○精機	2, 800, 000	構○○鉄工	2, 950, 000	2, 800, 000		
5	パワープレス	㈱〇〇プレス	1,600,000	〇〇精工㈱	1, 750, 000	1,600,000		
6	パワープレス	㈱〇〇プレス	4, 800, 000	〇〇精工㈱	5, 000, 000	4, 800, 000		
7	パワープレス	㈱○○プレス	7, 500, 000	〇〇精工㈱	7, 800, 000	7, 500, 000		
8	パワープレス	㈱〇〇プレス	950, 000	〇〇精工㈱	1, 050, 000	950, 000		
9	パワープレス	㈱〇〇プレス	3, 600, 000	〇〇精工㈱	3, 800, 000	3,600,000		
10	天井走行クレーン	(株)0000	2, 500, 000	(株)0000	2, 700, 000	2, 500, 000		
11	空気圧縮機	㈱○○空気機械	980, 000	〇〇鉄工所	1, 100, 000	980, 000		
12	空気圧縮機	○○鉄工所	360,000	㈱○○空気機械	385, 000	360, 000		
13	交流アーク溶接機	(株)0000	145,000	(株)0000	155, 000	145,000		
14	コンターマシン	㈱○○製作所	1, 450, 000	〇〇工機㈱	1, 550, 000	1, 450, 000		
15	フライス盤	㈱○○製作所	5, 200, 000	〇〇工機㈱	5, 400, 000	5, 200, 000		
16	シャーリングマシン	㈱○○製作所	1, 860, 000	〇〇工機㈱	1, 950, 000	1,860,000		
17	平而研削盤	㈱○○製作所	2, 450, 000	〇〇工機㈱	2, 600, 000	2, 450, 000		
18	普通旋盤	㈱○○製作所	2, 800, 000	〇〇工機㈱	3, 100, 000	2, 800, 000		
19	高圧受変電設備	○○電気㈱	2, 920, 000	㈱○○電工	3, 100, 000	2, 920, 000		
20	動力配線設備							
21	空気配管設備							

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	見積業者	見積取得業者は2社以上か。また、取得見積業者の選定は適切か。	
※ 4	見積金額	見積金額は適切か。	
※ 5	採用金額	安価な方を採用しているか。複数の密接不可分な機器グループの場合は複数の機器の合計額で判 断をしているか。	
		一 一般社団法人	
		カレ 人 ンペート 部か / 世ー上 + 100 + 2枚 + 生	
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		ifrastructure Adjustment Support System	

復元・再築認定 (経済比較)

K 1	※ 2	× 3		ŧ	复元工事費	※ 7	× 8	※ 9	※ 10	※ 11	※12 再築工事	* * 13	X 14	※ 15	※ 16	※ 17
番号	機械名	数量 (A)	復元費 ※ 4 _(B)	激±費 ※ 5 _(C)	常業補債 ※ 6 _(D)	休止 日数 (E)		再築工事費 (G)	補償率 (H)	再築費 (I)	撤去費 (J)	営業補賃 (K)	休止 日数 (L)	売却価格 (M)	## A×(I+J+K×L-M)	採用工
1	スケヤーシャー	1	779, 044	453, 745	50, 000	4.00	1, 432, 789	3, 652, 026	62. 2%	2, 271, 560	177, 139	100	4	6, 400	2, 442, 299	復元
2	高速砥石切断機	1	34, 414	19, 934	50,000	0.20	64, 348	500, 185	68.3%	341,626	6, 453	1	-	320	347, 759	復元
3	スポット溶接機	1	112, 229	65, 666	50, 000	0.60	207,895	829, 572	74. 2%	615, 542	21, 641	-	-	600	636, 583	復元
4	直立ボール盤	1	214, 717	127, 130	50,000	1. 20	401,847	2, 991, 746	42.4%	1, 268, 500	41, 702	-	-	1, 400	1, 308, 802	復元
5	パワープレス	1	540, 679	313, 845	50,000	3.00	1,004,524	2, 087, 862	42.4%	885, 253	286, 054	-	7	308, 000	863, 307	再築
6	パワープレス	1	786, 557	458, 220	50,000	5,00	1, 494, 777	5, 507, 303	42.4%	2, 335, 096	417, 635	- 4	-	924, 000	1, 828, 731	復元
7	パワープレス	1	1, 003, 992	584, 962	50,000	6.00	1, 888, 954	8, 402, 199	62.2%	5, 226, 167	533, 383	+	-	2, 133, 750	3, 625, 800	復元
8	パワープレス	1	436, 363	252, 908	50,000	2.00	789, 271	1, 344, 525	71.3%	958, 646	230, 800	-	-	314, 450	874, 996	復元
9	パワープレス	1	682, 439	397, 431	50, 000	4.00	1, 279, 870	4, 213, 101	71.3%	3, 003, 941	361, 777	松上地	-	1, 191, 600	2, 174, 118	復元
10	天井走行クレーン	1	1, 182, 356	659, 466	50,000	2.40	1, 961, 822	3, 917, 257	65. 3%	2, 557, 968	281, 202	戏作生	-	3, 600	2, 835, 570	復元
11	空気圧縮機	1	47, 146	27, 580	50,000	0.10	79,726	1, 021, 380	74. 2%	757, 863	24, 928	sterr		339, 080	443, 711	復元
12	空気圧縮機	1	34, 182	19, 934	50,000	0. 10	59, 116	390, 185	74. 2%	289, 517	18, 032	-		124, 560	182, 989	復元
13	交流アーク溶接機	1	17, 006	8, 944	50,000	0.01	26, 450	158, 733	79.8%	126, 668	2, 836	- 3	-	120	129, 384	復元
14	コンターマシン	1	202, 254	119, 214	50,000	0.60	351,468	1, 630, 752	74. 2%	1, 210, 017	39, 445	- 5	-	1, 300	1, 248, 162	復元
15	フライス盤	1	990, 827	583, 864	50,000	3.00	1, 724, 691	6, 079, 794	62.2%	3, 781, 631	192, 470		11-	10, 000	3, 964, 101	復元
16	シャーリングマシン	1	622, 511	361, 987	50,000	1. 70	1, 069, 498	2, 421, 228	65. 3%	1,581,061	140, 803	1 6		4, 800	1, 717, 064	復元
17	平面研削盤	1	242, 902	139, 114	50,000	0.60	412, 016	2, 671, 300	59. 1%	1, 578, 738	59, 545		-	1, 300	1, 636, 983	復元
18	普通旋盤	1	539, 527	313, 145	50, 000	1.50	927, 672	3, 286, 678	62.2%	2,044,313	121, 216	1.6	-	4,000	2, 161, 529	復元
19	高圧受変電設備	1	293, 207	144, 964	50, 000	3.00	588, 171	3, 174, 301	20.0%	634, 860	92, 398	- 4		-	727, 258	復元
20	動力配線設備	1	9	1 2		-	.5	1, 822, 435	42. 4%	772, 712	220, 880		+	A	993, 592	再築
21	空気配管設備	1	4	74		-	-	673, 034	42.4%	285, 366	95, 411	-	1		380, 777	再築
are.	補價項目	単位	基礎額	1日あた	り補償額	※復5	元工法の機器等は	営業補償を含む。		基礎額	1日あた	補償額	※再築	しても休止日参	数が生じる場合に	計上する
営業	収益減補償額	365 日	1, 100, 000	3, 013		※1台	毎の復元に要する	5日数は、見積書	による。	1, 100, 000	3, 013					
補償	固定的経費の補償額	365 FI	7, 550, 000	20, 684	50,000	₩No,	20~No, 21は復元	不可。		7, 550, 000	20, 684	50,000				
	休業(人件費)補償額	30 H	790, 000	26, 333		※得加	然先喪失補償は、	経済比較の対象	外とする。	790,000	26, 333					

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	数量	数量に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 4	復元費	様式3機械設備算定内訳書(復元工事費)と一致しているか。	
※ 5	撤去費	様式4機械設備算定内訳書(復元撤去費)と一致しているか。	
※ 6	営業補償	1日当たりの補償額は営業補償の算定と一致しているか。	
※ 7	休止日数	見積書等の根拠資料における復元に要する日数と一致しているか。	
※ 8	復元工事費計	計算及び端数処理(1円未満切捨)は正しく行われているか。	
※ 9	再築工事費	様式3機械設備算定内訳書(再築工事費)と一致しているか。	
※ 10	補償率	補償率に間違いはないか。(標準耐用年数経過以降は残価率 20%)修繕・改修等が行われていて 残価率によりがたい場合は専門業者の意見により別途補償率を認定しているか。	
※ 11	再築費	計算及び端数処理(1円未満切捨)は正しく行われているか。	
※ 12	撤去費	様式4機械設備算定内訳書(再築撤去費)と一致しているか。	
※ 13	営業補償	1日当たりの補償額は営業補償の算定と一致しているか。	
※ 14	休止日数	見積書等の根拠資料における休止日数と一致しているか。(再築しても休止が生じる場合)	
※ 15	売却価格	スクラップ価格の計算は適切か。市場性がある機器の中古品売却価格は現在価格の50%としているか。又は専門メーカー等からの意見聴取により売却価格を正しく認定しているか。	
※ 16	再築工事費計	計算及び端数処理(1円未満切捨)は正しく行われているか。	
※ 17	採用工法	復元工事費・再築工事費の安価な方を採用しているか。	

機 械 設 備 代 価 表 ※ 4

※ 2 **※** 5 **※** 6 $\times 1$

代価番号	項目名称	単 位	機械 No.	機械名	備考
第1号	基礎工事費・基礎撤去費	式	1	スケヤーシャー	

※ 7

出典 (コード番号)	※8 単価名称	※9 仕様・形状寸法	※10單位※	(11 単 価 ※	12 数量	※13 金額	備考
<基礎工事	費>						
0000	やりかた	小規模・複雑	建m2	410	3. 25	1, 332	
0000	根切り (機械)	小規模・深さ=3.0m以内	m3	1,530	4. 03	6, 165	
0000	割石地業	割石·厚15cm	m3	8, 560	0. 61	5, 221	
0000	捨てコンクリート	18N/mm2・シュート打設	m3	13, 300	0, 20	2,660	
0000	型枠	木造建物・工作物基礎	m2	2, 580	2, 28	5, 882	
0000	コンクリート	21N/mm2・シュート打設・小型構造物	m3	15, 900	0, 98	15, 582	
0000	鉄筋・加工組立	簡易·5 t 未満	k g	85	79, 95	6, 795	
0000	不用土処分	構内敷きならし 一一一	m3	340	1. 78	verem 605	
0000	埋戻し (機械)	現場内仮置場土使用·運搬20~30m·突固共	m3	2,070	2. 24	4, 636	
						(48, 878)	
	-		(48, 800	
<基礎撤去3	費>						
0000	根切り(機械)	小規模・深さ=3、0m以内	m3	1,530	1.44	2, 203	
0000	コンクリート解体	工作物等・有筋・機械こわし・積込共	m3	16,000	0.98	15, 680	
0000	埋戻し(機械)	現場内仮置場土使用・運搬20m~30m・突固め共	m3	2,070	1.44	2, 980	
0000	埋戻し(機械)	購入土使用	m3	4, 350	0.98	4, 263	
						(25, 126)	
						25, 100	
		計					
		補償単価					

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	代価番号	番号は適切か。	
※ 2	項目名称	項目名称に誤りはないか。	
※ 3	単位	単位に誤りはないか。	
※ 4	機械番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 5	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 6	備考	必要に応じてその他、特筆事項が表記されているか。	
※ 7	出典	標準書コード、その他出典に漏れや誤りはないか。	
※ 8	単価名称	名称に誤りや漏れはないか。	
※ 9	仕様・形状寸法	仕様・形状寸法に誤りはないか。	
※ 10	単位	単位に誤りはないか。	
※ 11	単価名称	単価に誤りはないか。	
※ 12	数量	数量計算書より引用した数量に誤りはないか。	
※ 13	金額	計算及び端数処理は正しく行われているか。	

機械設備数量計算書※5

※ 6 **×** 1 **X** 2 **Ж** 3 備 考 項目名称 機 代価番号 単位 機械 No. 械 名 基礎工事費・基礎撤去費 スケヤーシャー 第1号 式 1

※ 7単 価 名 称	※8 仕様·形状寸法	※9 計 算 式	※10 小計	*11 # *	12
<基礎工事費>					
やりかた	小規模·複雑	2.50*1.30	3, 250	3. 25	建m2
根切り(機械)	小規模・深さ=3.0m以内	(2.50+0.5*2)*(1.30+0.5*2)*0.50	4. 025	4. 03	m3
割石地業	割石·厚15cm	(2.50+0.20)*(1.30+0.20)*0.15	0. 607	0, 61	m3
拾てコンクリート	18N/mm2・シェート打設	(2.50+0.20)*(1.30+0.20)*0.05	0. 202	0. 20	m3
型枠	木造建物·工作物基礎	(2.50+1.30)*2*0.30	2, 280	2, 28	m2
コンクリート	21N/mm2・シェート打設・小型構造物	2.50*1.30*0.30	0, 975	0, 98	m3
鉄筋·加工組立	簡易·5t未満	0.975*82	79. 950	79. 95	k g
不用土処分	構内敷きならし	0.607+0,202+2.50*1,30*0.30	1.784	1.78	m3
埋戻し(機械)	現場内仮置場士使用・運搬20m~30m・突固め共	4.025-1.784	2. 241	2. 24	m3
<基礎撤去費>					
根切り(機械)	小規模・深さ=3、0m以内	(2.50+0.5*2)*(1.30+0.5*2)*0.3-2.5*1.3*0.3	1. 440	1.44	т3
コンケリート解体	工作物等・有筋・機械こわし・積込共	2.50*1,30*0.30	0, 975	0, 98	m3
埋戻し(機械)	現場内仮置場土使用・運搬20m~30m+突固め共	1.440	1. 440	1. 44.	m3
埋戻し(機械)	購入土使用	2.50*1.30*0.30	0.975	0.98	m3

機械設備算定內訳書(数量計算書)

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	代価番号	番号は適切か。	
※ 2	項目名称	項目名称に誤りはないか。	
※ 3	単位	単位は適切か。	
※ 4	機械番号	機械番号に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 5	機械名	機械名に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 6	備考	必要に応じてその他、特筆事項が表記されているか。	
※ 7	単価名称	名称に誤りはないか。必要な工種に漏れはないか。	
※ 8	仕様・形状寸法	仕様・形状寸法に誤りはないか。	
※ 9	計算式	計算式は適切か。	
※ 10	小計	計算及び端数処理(小数点以下4位切捨)は正しく行われているか。	
※ 11	計	端数処理(小数点以下3位四捨五入)は正しく行われているか。	
※ 12	単位	単位は適切か。	
		ifrastructure Adjustment Support System	

見積依賴書

※1

〇〇株式会社 殿

X 2

株式会社四門

代表取締役 宝土 大亮 〒131-0034 東京都墨田区堤通 1-19-9 リパーサイド隅田 16 階 TEL 03-6661-8834 FAX 03-6661-8836 担当 ○○ ○○

E-mail:

X 3

下記のとおり、見積書の提出をお願いいたします。

53

※ 4

1. 見積書宛名 株式会社四門

一般社団法人

※ 5

2. 受後し場所 OO県ΔΔ市 Adjustment Support System

× 6

3. 見積依頼する機械の名称・規格等

1)

機器名: 1連式自動充填機

型 式:1510

2)

機器名: 2連式自動充填機

型 式: S251U 製造番号: 19846 19848

4. 見積事項、見積条件

(1) 下記の項目について、必ず見積書へ記載をお願いします。 (見積の必要がないもの又は出来ないものについては、その理由等を記載してください。) ※7 ① 機器等の購入費 (新品価格)

(新品価格は、一般管理費等を含む販売価格とし、二次側*の配線・配管・ 装置等も含める。)

*二次側とは、当該機器が電力の消費を行うための装置等(動力盤等) から当該機器側をいう。

- ※8② 質量(1台あたり)(二次側の配線・配管・装置等の質量は除く。)
- ※9 ③ 中古品売却価格
- ※10 ④ 消費税等
- ※11⑤ 総合試運転費
- ※12 ⑥ 特別管理産業廃棄物 (廃油、廃PCB等) の処分費
- ※13 ⑦ その他雑費(材料費、仮設費等)
- ※14® 移転工棚 (下記□の項目について記載をお願いします。)

新設の工期

据付工期

基礎作成工期

復元(移設)の工期 据付工期 基礎作成工期

選難に要する工期 一般社団法人 車上渡し 現場特込み 社会資本整備支援機構 Infrastr復元運搬 Adjustment Support System

撤去の工期

撤去工期 (スクラップ) 撤去工期 (復元 (移設) 又は中古品売却) 基礎撤去工期

×15

(2) 現在、同一の機械が製造等されていない場合は、代替機械の見積りとして ください。

その場合、代替とする理由、上記規格等との相違点等を見積書に記載し、規 格等が記載された製品カタログ等の添付をお願いします。

×16

5. 添付資料

- ① 機械設備調査表
- ② 機械設備位置図
- ③ 写真台帳

番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	依頼先	依頼先の選定は正しく行われているか。 (当該機器の製造業者・代理店等、又は不明の場合は同様 の機器を製造している業者又は取り扱っている代理店)	
※ 2	依頼元	当社名・所在地および担当者を記載しているか。	
※ 3	依頼文	依頼理由が簡潔に記載されているか。	
※ 4	見積書宛先	見積の宛先は当社となっているか。(発注者ではない。)	
※ 5	受渡し場所	受渡し場所は正しく表記されているか。(構内:対象地、構外:対象地付近)	
※ 6	機器の名称等	調査内容に基づいた機器の名称、規格・仕様等が正確に記載されているか。	
※ 7	機器等の購入費	本体価格の他一般管理費、二次側配線配管等も含めて依頼しているか。	
※ 8	質量	本体1台当たりの質量を依頼しているか。	
※ 9	中古品売却価格	中古品売却価格を依頼しているか。	
※ 10	消費税	税込み・税抜き・あるいは非課税が明確に判別できるように依頼されているか。	
※ 11	総合試運転費	総合試運転費を依頼しているか	
※ 12	廃棄物処分費	廃材処分費を依頼しているか。(必要に応じて特別管理産業廃棄物等を含む)	
※ 13	その他雑費	その他雑費を依頼しているか。	
※ 14	移転工期	新設・撤去・移設に要する日数の記載を依頼しているか。	
※ 15	代替機械	同一の機械がない場合、代替となる機械とその理由等の記載を依頼しているか。	
※ 16	添付資料	見積に必要な資料が記載されているか。(機器資料・設置状況・配置図・道路状況・写真等)	

機械設備の補償額算定に係る要点事項

※ 5

機械基号%.4

/K U	The state of the s	200, 200 all 13 (40) 4
事業名	〇〇〇〇用地調査等業務	- Workstone
被補償者名	〇〇株式会社	
建物移転工法	横外移転工法	3

			※ 5 補償対象	※ 6 見積り		
× 1	製造メー	一カ一等の名称	株式会社協和自動機	株式会社協和自動機	高吉產業設備株式会社	
※2 専門メーカー等の選定理由		カー等の選定理由		対象機械の取り扱い 及び取引は可能との ことが確認出来たこ とから、適正な依頼 先として選定。	対象機械の取り扱い 及び取引は可能との ことが確認出来たこ とから、適正な依頼 先として選定。	
è		可否に関する -カー等の意見		移設は可能。	移設は可能。	
		名 称	2連充填機	9"7"ル充填機	9.7.8充填機	
		型式等	KMTS-5000型	KMTS-5000型	KMTS-500D型	
	規格		KTS-11型	KTS-11型	KTS-11型	
機械設	AL IS		MY-1CD펖	MY~1CD型	MY-1CD型	
備等	機能	***************************************				
					支援機構	
※3「同種同等」 「機能が最も近似」 と判断した理由等		同種同等」 が最も近似」	ucture Addi	補償対象機械の型式 名、図画等を提供し て見積を模しており、見積書にも同機 の仕様・容もことが あることが ある同一の機械であ る。	補償対象機械の型式 名、図面等を提供し て見積を依頼して制 り、見積書をし の仕様・むい機械 を 動されての機械 であ る。	
	J	見積時点		令和4年2月	令和4年2月	8
	3	見積価格		30, 900, 000	34, 000, 000	
経済指標名 及び 時点修正率		及び 時点修正率	-		-	_
	時点修正後の取得価格		_	-	AND DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAMED IN COLUMN	and the second s
※ 4 見積書の検証結果				譲りや不明確な点は 無い。見積書は補償 対象の機械と同一の ものであり、他社と 価格差が少ないこと	無い。見積書は補償	

機械設備算定內訳書(見積検証)

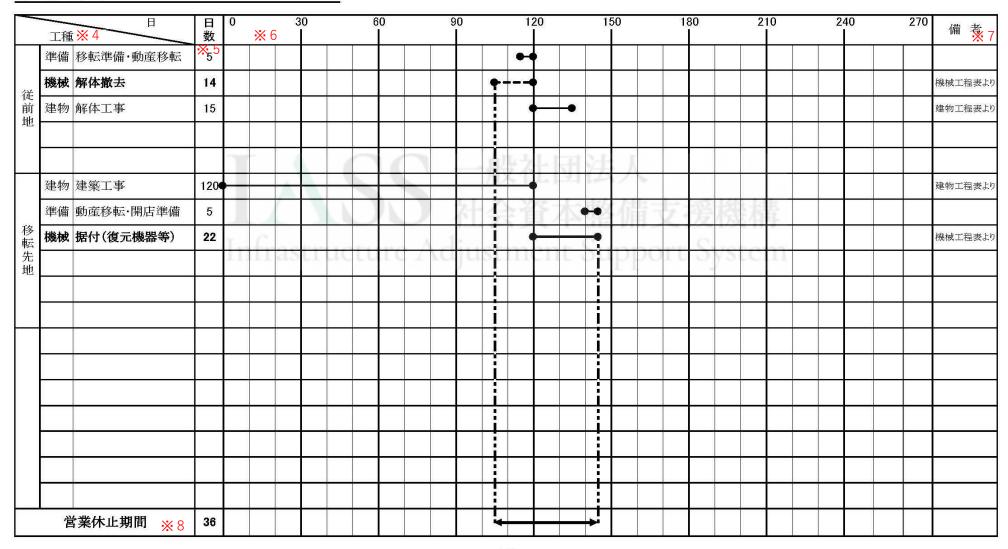
番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	見積先	見積業者が2社以上記載されているか。	
※ 2	見積徴取業者の選定理由	見積業者の選定理由が適切に記載されているか。	
※ 3	同種同等の判断理由	同種同等または近似機器と判断した理由は適切か。	
※ 4	見積書の検証	依頼内容に合致した見積か、金額は妥当か。	
※ 5	表題項目・補償対象項目	記載内容は他の書類と合致しているか。	
※ 6	見積り内容	記載内容は見積書から正しく転記されているか。	
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		MXTLUITAX	
		人 十 十 全 各 木 敷 備 寸 築 機 構	
		1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	
		itrastructure Adjustment Support System	

 $\times 1$

調査先名:プレス工場 ※2所在地: 移転工程表

 \times 3

構外再築工法:機械設備復元工法[一部再築]



番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	調査先名	調査先名称に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	所在地	所在地に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	移転工法	移転工法に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 4	工種	全体の移転工程に必要な工種が漏れなく表記されているか。(例:準備 移転準備・動産移転、建物 解体費、機械 解体費、附帯工作物解体費、建物 建築工事等)	
※ 5	日数	線表記した日数と一致しているか。	
※ 6	日(線表記)	根拠資料又は聞取結果等に基づき、正しい位置(時期)に正しい日数で表記されているか。	
** 0	口(脉衣記)	別途作成した建物移転工程表、機械設備移転工程表等の資料と整合は取れているか。	
※ 7	備考	必要に応じて工事期間日数の根拠資料等が表記されているか。	
※ 8	営業休止期間	上記工程表に基づいた合理的な工事期間による最短の営業休止期間となっているか。	
		社会資本敕借支採機構	
		C 1. 公員不這個又級機件	
		ifrastructure Adjustment Support System	

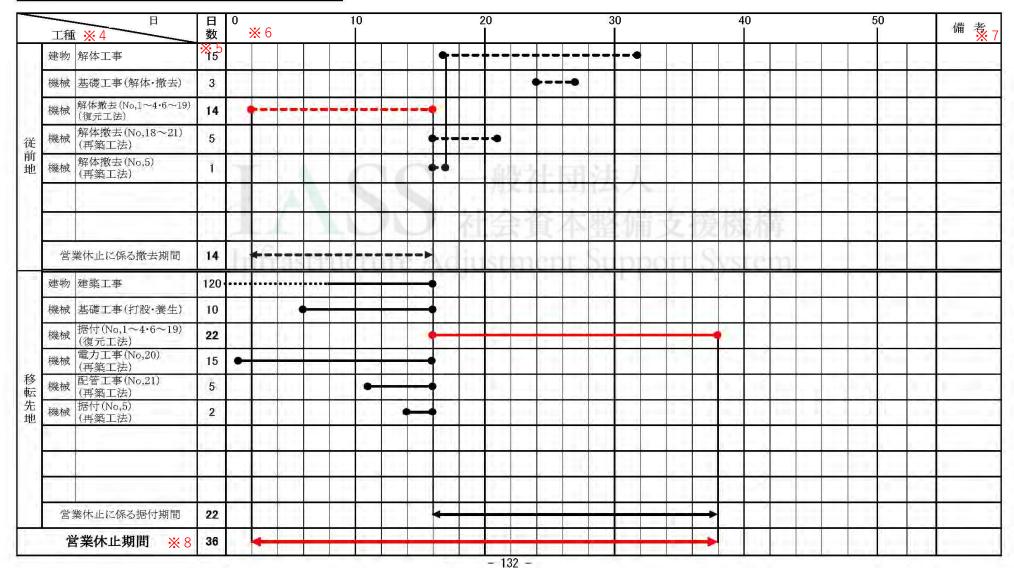
※ 9

機械設備移転工程表

※1調査先名:プレス工場

※2所在地:

※3 構外移転:機械設備復元工法[一部再築]



番号	チェック項目	チェック内容	備考
※ 1	調査先名	調査先名称に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 2	所在地	所在地に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 3	移転工法	移転工法に誤りはないか。(図面表記内容、その他作成調書等と一致しているか。)	
※ 4	工種	機械設備移転工程に必要な工種が正しい工法で漏れなく表記されているか。(例:仮設工事、足場 工事、基礎工事、解体撤去工事、据付工事等)	
※ 5	日数	線表記した日数と一致しているか。	
※ 6	日(線表記)	根拠資料又は聞取結果等に基づき、正しい位置(時期)に正しい日数で表記されているか。	
※ 7	備考	必要に応じて工事期間日数の根拠資料等が表記されているか。	
※ 8	営業休止期間	上記工程表に基づいた合理的な工事期間による最短の営業休止期間となっているか。	
※ 9	その他	当該形式によらない場合、別途その他の形式(ネットワーク工程表等)により、工種、工事時期、 工事日数等を表記した工程表が作成されているか。	
		100 社会具个证明又级域将	
		afrastructure Adjustment Support System	